



春日部市立武里小学校  
児童数 509名  
令和7年10月28日発行

## 「非認知能力」の向上を目指して ～大成功の「わかスポ」から～

校長 小野 誠

10月18日(土)、本校の一大イベントのひとつである「わかたけスポーツフェスティバル」が大成功のうちに終了しました。実施の2日前まで不安定な天気が続き、当日もどうなることかと心配しましたが、すがすがしい秋晴れの下で実施できました。当日は、ご利用の中、たくさんの保護者・地域の皆さまが来校くださり、わかたけっ子に熱い声援を送ってくださいました。心より感謝申し上げます。おかげさまで、こどもたちはスローガンの言葉にあるように、「全力で、笑顔で、最後まで」頑張ることができました。

本校の「わかスポ」は、多くの学校で採用している「紅白対抗」では行っていません。体育授業で取り組んでいる「走の運動」「表現運動」等の「発表の場」として捉え、それに合わせて「フェスティバル」という要素を加味して、「一人一人が体力向上に取り組み、それを発表し合ってお互いに応援し、みんなで盛り上げる」行事として行っています。その趣旨をまさに「体現」してくれて、素晴らしい「わかスポ」を創り上げたわかたけっ子一人一人は、教室内での学習だけでは十分に高められない「非認知能力」を大いに向上させたことでしょう。

皆さんは、この「非認知能力」という言葉をご存じでしょうか。これは「学力テスト等では数値化されない、こどもの将来や人生を豊かにする能力、内面的なスキル」のことです。具体的には「目標を決めて取り組む」「意欲的に活動する」「新しい発想をする」「周りの人と円滑なコミュニケーションを図る」「最後まで粘り強く取り組む」などの力のことです。わかスポ当日の、「わかたけサンバ」「倍倍 Fight！」などに合わせた「全校応援」、開会式での堂々とした「児童代表の言葉」、金管・バトンクラブの演奏・演技、高学年児童の各係での活躍、放送係児童のアナウンサー顔負けの実況、そして、各学年の競技・演技後に一人一人が見せた「満足感あふれる表情・態度」などなど、非認知能力の高まりを感じられた場面は枚挙にいとまがありません。

今後も、修学旅行、校外学習など、非認知能力をさらに高められる行事が続きます。「わかたけっ子ファースト」での実践で効果的にそれを高めていくよう、教職員一丸となって取り組みます。今月も皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

## わかたけスポーツフェスティバルを行いました

10月18日(土)、「わかたけスポーツフェスティバル」を行いました。徒競走、団体種目、表現を行いました。保護者の皆様、応援ありがとうございました。



## いじめ撲滅強調月間

11月は「いじめ撲滅強調月間」です。いじめられた子どもには心身に深刻な被害が生じることがあります。いじめは重大な人権侵害であり、決して許されることではありません。

埼玉県では、11月を「いじめ撲滅強調月間」に制定し、いじめ問題の根絶に取り組んでいます。いじめを受けていたり、いじめに気が付いたら一人で悩まず相談・通報してください。お子様の学校生活でご心配なことなどがありましたら、遠慮なく学校にもお知らせください。

学校のいじめ撲滅のための取組について、[本校ホームページに掲載](#)しています。この機会にぜひ、ご覧ください。また、いじめに関する相談・通報窓口について、[先週、保護者メール](#)にてお知らせしました。



## オープン参観

先日の手紙でもお知らせしたとおり、11月8日(土)に「オープン参観」を行います。2校時、3校時を参観時間とさせていただきます。参観学年は指定いたしません。兄姉弟妹と自由にご参観ください。

## 「彩の国教育の日」と「彩の国教育週間」について

「彩の国教育の日」は毎年11月1日です。教育に対する関心と理解をより深めるための機会としています。11月1日から7日までを「彩の国教育週間」と定めています。

この教育の日と教育週間には、家庭、学校、そして地域社会が一体となって、教育に関するさまざまな取り組みを推進しています。親子向けの体験教室などが県内の市町村や学校、社会教育施設、各種団体で多数実施されます。本校の「オープン参観」も「彩の国教育週間」にあわせて実施しています。